

平成23年度

韓国務安郡派遣研修報告書

平成23年8月15日（月）～19日（金）



北名古屋市

目 次

● 務安郡派遣日程表	1
● 派遣者名簿	2
● 務安郡 名勝地	3
● 韓国での体験・研修レポート	
岩越 勇樹（師勝中学校）	4
鈴木 聡大（師勝中学校）	6
池場 祥磨（師勝中学校）	8
明利 翔（師勝中学校）	10
鵜飼 柚野（熊野中学校）	12
足立 菜都美（西春中学校）	14
高橋 侑里（西春中学校）	16
山田 菜央（白木中学校）	18
長谷川 順乙（天神中学校）	20
三島 由美子（天神中学校）	22
内海 果音（金城学院中学校）	24
服部 華奈（金城学院中学校）	26
● 務安郡での体験風景	28

北名古屋市中学生の務安郡派遣日程表

月／日／曜	場所等	時間	交通機関	スケジュール
1日目 8月15日(月)	セントレア 仁川 ソウル	6:20 6:36 7:23 9:35 11:35 12:30 13:30 18:00	KE-752 専用車	岩倉駅集合 岩倉駅出発 セントレア駅到着 大韓航空機にてソウルへ 仁川国際空港到着 ソウル市内へ 景福宮、民俗博物館、青瓦台前見学 夕食後ホテルチェックイン
2日目 8月16日(火)	ソウル 金浦空港 光州空港 務安	8:30 9:15 10:15 11:05 11:50 14:00 15:00 18:00	OZ-8703 務安郡専用車 自家用車	ホテルにて朝食後チェックアウト 搭乗手続き アジアナ航空機にて光州へ 光州空港到着 昼食後務安郡庁まで移動 務安郡庁訪問（相互紹介） 韓国文化体験（茶道体験） ホストファミリー宅へ
3日目 8月17日(水)	務安	8:30 9:30 12:30 14:00 17:30 20:00	自家用車 務安郡専用車	僧達文化芸術会館集合 生態干潟体験見学・干潟体験 昼食 回山白蓮池見学 歓迎晩餐会 ホテルチェックイン
4日目 8月18日(木)	務安 光州空港 金浦空港 ソウル	8:40 9:00 11:10 13:00 14:00 14:55 15:30 18:00	務安郡専用車 OZ-8706 専用車	ホテルにて朝食後チェックアウト 自然史・海洋博物館見学 昼食後光州空港まで移動 搭乗手続き アジアナ航空機にてソウルへ 着後、ソウル市内へ 市内見学（昌徳宮等見学・ショッピング） 夕食後ホテルチェックイン
5日目 8月19日(金)	ソウル 仁川 セントレア 北名古屋市	8:30 10:30 12:35 14:20 16:20	KE-757	ホテルにて朝食後チェックアウト 搭乗手続き 大韓航空機にて帰国の途に セントレア帰着北名古屋市へ 東庁舎到着（解散）

派遣者及び交流生徒名簿

北名古屋市中学生

学校名	学年	性別	氏 名
師勝中学校	1	男子	岩越 勇樹
師勝中学校	1	男子	鈴木 聡大
師勝中学校	1	男子	池場 祥磨
師勝中学校	2	男子	明利 翔
熊野中学校	1	女子	鷗飼 柚野
西春中学校	1	女子	足立 菜都美
西春中学校	1	女子	高橋 侑里
白木中学校	1	女子	山田 菜央
天神中学校	1	女子	長谷川 順乙
天神中学校	2	女子	三島 由美子
金城学院中学校	1	女子	内海 果音
金城学院中学校	2	女子	服部 華奈

務安郡中学生

学校	学年	性別	氏 名
務安中学校	1	男子	金 珉規
務安中学校	1	女子	李 奈縣
務安北中学校	1	男子	李 旻成
務安北中学校	1	女子	盧 沼榮
玄慶中学校	1	男子	崔 朱完
望曇中学校	1	男子	千 珍禹
夢灘中学校	1	男子	徐 昌株
南岳中学校	1	男子	申 洪宙
南岳中学校	1	女子	曹 玆諤
海際中学校	1	女子	朴 昇顯
海際中学校	1	女子	金 하평
清溪中学校	1	女子	朴 志恩

引率者名簿

北名古屋

白木中学校	教務主任	小林 正臣
訓原中学校	教師	櫻井 しげ子
事務局	議会事務局長	石原 龍
事務局	秘書室長	熊沢 真澄

務安郡

務安郡庁	担当者	城 子鉉
務安教育庁	奨学士	朴 玉英
海際中学校	教師	金 竣成
	通訳(ガイド)	崔 銘桔

務安郡 名勝地



白蓮池

草衣禪師
誕生地



干 潟

体験・研修レポート

北名古屋市立師勝中学校1年 岩越勇樹

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

僕は、8月15日から8月19日の5日間、北名古屋市の代表として、韓国の務安郡へ行ってきました。以前からホームステイや海外旅行を体験したいと思っていたことに加えて、家族にも勧められたこともあり、強い気持ちで応募しました。

出発前の勉強会では、韓国の文化やハングルを韓国の先生から教えてもらいました。出発日が近づくにつれて、不安が大きくなり、応募しなければよかったと思う日もありました。しかし、韓国での



数日間で、11人の仲間ともすぐに打ちとけ、引率していただいた北名古屋市の職員・中学校の先生方も優しくしていただいたこともあり、楽しい5日間を過ごすことができました。また、今回の派遣は12人の内、男子が少なく4人でしたが、男子全員が師勝中学校の生徒だったので、大変心強かったです。

ソウルでのバス移動では、ガイドさんが、名所や文化について親切に、また、丁寧に分かりやすく教えてくださいました。テレビや教科書で見たことのある観光地にも行きました。一番心に残った場所は、昨年に再現されたばかりの南大門で、とても綺麗で雄大でした。

今回の韓国への研修派遣に参加して、大変貴重な体験ができたことをうれしく思います。この経験を中学校生活やこれからの人生にいかしていきたいと思います。

2. 務安郡でのホームステイを体験して

僕は、務安中学校1年生のキム・ミンギウ君の家にホームステイをしました。

まず、務安郡庁での交流会で、郡守の方や郡庁の職員の方たちと会い、出発前の勉強会で教えてもらったハングルでの自己紹介をしました。出発直前まで何日も練習をして、しっかり覚えていたはずなのに、本番では緊張して頭が真っ白になり上手く言えませんでした。しかし、務安郡の方たちには言いたいことが伝わったみたいでとても嬉しかったです。その後、民族衣装(パジチョゴリ)を着て韓国の茶道を体験しました。とても美味しいお茶で、入れ方も習いました。

次に、ステイ先に移動しました。ミンギウ君は、僕と一緒に野球をしていることが分かり、すぐに仲良くなれました。



夕飯は韓国の家庭料理を出してもらいました。中でもプルコギがすごく美味しかったです。夕飯後は、公園やショッピングセンターへ連れて行ってもらいました。言葉が通じなくても、僕のことを気づかって、ジェスチャーなどで一生懸命言いたいことを伝えようとしてくれました。家族5人がとても優しく迎えてくれたので、不安だったステイも楽しく過ごすことができました。

一日だけのステイでしたが、ミンギユウ君家族は、務安郡での思い出をたくさん作ってくれました。ミンギユウ君家族が、優しく笑顔で迎えてくれたことを忘れません。日本に戻ってからも、ミンギユウ君とはメールや電話で話しています。ハングルが分からないため、英語の単語などでコミュニケーションをとっています。ハングルを覚えるのはちょっと無理かもしれないので、英語をしっかりと勉強して話せるようにしていきたいです。

3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡は、海や山などの自然に囲まれた場所で、僕たちの住んでいる北名古屋市ではできない経験をたくさんしました。とくに印象に残ったのが白蓮池です。見た瞬間に感動しました。池全体に蓮が広がり、そこを韓国の友達とボートに乗って楽しい時間を過ごしました。

今回の務安郡での研修は、僕にとって初めてのことで、4泊5日全てが貴重な体験でした。この研修を機会に、北名古屋市と韓国務安郡との掛け橋になればと思います。また、言葉が通じなくてもその人のことを思いながら接していけば必ず何か通じるものはあると感じました。今回の韓国務安郡研修派遣に参加した中学生11名と、引率をしていただいた北名古屋市職員の方、中学校の先生方のおかげで一生に残る思い出ができたと感じています。



体験・研修レポート

北名古屋市立師勝中学校1年 鈴木 聡 大

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

僕は、8月15日から8月19日までの5日間、研修派遣に参加して韓国に行ってきました。

学校からこの派遣の手紙をもらったとき、海外に行ったことのない僕は海外に行くよいチャンスだと思い応募しました。

事前学習では、韓国の文化や言葉や食べ物について学びました。今年は、務安郡での自己紹介を韓国語ですることになり、自己紹介する文を勉強しました。僕は、家でも練習して暗記しました。本番では、大勢の人の前でしたが、大きな声で発表できました。

韓国語には、のばす発音が無く、例えば僕の名前の「そうた」は、「そた」になります。日本語と韓国語の違いはありますが、比較的発音が似ているので、覚えやすかったです。韓国語の勉強が面白かったので、これからも、勉強を続けていきたいと思います。

韓国に着いて最初に感じたのは、匂いの違いです。少しすっぱい様な匂いがしました。移動はバスでした。ソウル市内の路上駐車が多さに驚きました。道に隙間なく車が並んでいて圧倒されました。韓国では、路上駐車は犯罪にはならないのかな、と疑問に思いました。買い物に行ったとき、お店の人が日本語を話せることに驚きました。このことから、韓国のお店が日本人のお客さんを大事にしていることが分かりました。



2. 務安郡でのホームステイを体験して

僕は、イ・ミンソン君という子の家にホームステイをしました。ホームステイ先の家はマンションでした。僕が見た韓国の家は、一軒家が少なく、マンションがほとんどでした。ホームステイ先の人は僕とは初対面なのに、優しく「こんにちは」や「はじめまして」などと声をかけてくれました。誰にでも優しく声をかけてくれるところが韓国人の良いところだと思いました。

初めは言葉が通じなくて、コミュニケーションがとれず大変でしたが、身振り手振りでなんとか会話ができるようになりました。ミンソン君とは、簡単な英語で会話をしました。僕よりもミンソン君の方が英語ができるようでした。

夕食は、レストランに連れていってもらいました。バイキング形式の店で、日本の料理もあり、お寿司もありました。日本人



が韓国のキムチを食べるように、韓国人も日本のお寿司を食べることが分かりました。朝食はご飯と焼肉とキムチでした。朝から焼肉を食べるということに驚きました。ミンソン君やお父さんやお兄さんは、もりもり食べていてすごい食欲だなと思いました。

僕のへたな韓国語を聞いてくれたり、知っている日本語をわざわざ使ってくれたりとても優しい家族でした。また会うことができたらいいと思います。

3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡は、とても海が近いので海の幸に恵まれていることで有名です。とくに干潟が世界的に有名で、務安郡に住む人たちは、昔から干潟とともに暮らしてきたそうです。たこやカニがいて、たこは生で、カニははさみが赤い物を食べるそうです。

実際に干潟に行くととても広く、カニなどは穴を掘って暮らしていました。長靴を履いて歩いてみると、下に沈み、ズボンのところまで泥がきました。着替えは持って行きましたが、ここまでどろどろになるとは思っていなかったので少しショックでした。



自然史博物館では、大昔の動植物から現在までの動植物が展示されていました。僕が一番興味を持ったのは、エコをテーマにした展示室です。そこでは、家のいろいろな所に植物を置いてエコにしようということの見本が展示されていました。僕の家でも実行しようと思いました。

今回の研修で学んだことは、国や言葉が違って、同じ中学生同士、自然と友達になり、楽しい時間を過ごすことができるということです。国際交流の楽しさも知りました。この研修をいかして、日本だけではなく海外のことにも興味をもとうと思いました。また、このような企画があればぜひ参加したいと思います。

最後に、この研修を企画してくださった方々、ガイドさん、通訳さん、この研修に関わった方々、本当にありがとうございました。

体験・研修レポート

北名古屋市長師勝中学校1年 池 場 祥 磨

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

僕は海外に行ったことはありませんでしたが、母に勧められ、ホームステイしたいという軽い気持ちで応募しました。

出発前の研修では、ハングルを学んだり、自己紹介の練習をしたりしました。出発前には挨拶や食事のときの言葉を少し話せるようになりました。韓国の中学生は夜の12時くらいまで塾で勉強していると聞いてとても驚き、感心しました。

また、韓国の食べ物はとても辛いと聞いていましたが、実際に食べてみると予想していたよりも辛くありませんでした。韓国には何百種類ものキムチがあり、代表的なキムチは白菜キムチ、大根キムチ、胡瓜キムチだそうです。韓国の国花はムクゲです。色は白くて小さい花です。

韓国は日本と似ていますが、違うところもたくさんありました。食事のときのマナーや言葉の発音、建物の構造などです。日本と韓国との違いや歴史、文化を学ぶことができました。素晴らしい体験ができました。楽しかった5日間は短く感じました。日本に帰ってきて、改めて研修派遣に参加できて本当によかったと思いました。



韓国の国花『ムクゲ』

2. 務安郡でのホームステイを体験して

僕は、チュ・チュワン君という中学1年生の男の子の家でホームステイをさせてもらいました。チュワン君の家は一階建てで、隣近所が何メートルも離れていて、北名古屋市の2倍くらいの田畑で囲まれていました。近くの山々には白い鳥がたくさん飛び交っていて幻想的な風景でした。この風景を見て、務安郡は本当に自然豊かなところなんだなあと実感しました。



ホームステイ先の崔朱完君と

僕は最初韓国語が全然分からなくて戸惑っていました。しかし、ホストファミリーはとても親切で、ジェスチャーや携帯の翻訳機で教えてくれました。僕も、ジェスチャーや苦手な英単語を並べて話してみましたが、なかなか伝わらず、翻訳機に頼ってばかりでした。

夕食は、お店へ行ってジャージャー麺を食べさせてもらいました。チュワン君は3人家族で一緒にゲームもしました。ゲームが終わると、2回目の夕食を家で食べました。しかし、ジャージャー麺を食べてお腹がいっぱいだった

たので、申し訳なくも全部は食べられませんでした。夕食の後はまたゲームをして遊びました。チュワン君一家は僕にシャワーを先に使わせてくれて、心優しい家族だなあと改めて思いました。日本からのお土産を渡すと喜んでくれました。特に日本のカップラーメンがお気に入りだったみたいです。寝るときはチュワン君がいつも使っているベッドで寝かせてもらいました。

楽しかった一日はあっという間に過ぎてしまいました。翌日の朝、あと2時間で別れるのかと思いながら朝食を食べていました。短い滞在でしたが、ホストファミリーは広い心を持って接してくれて僕は心から感謝しています。

3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡では韓国の伝統文化に触れたり見学をしたりしました。韓国の民族衣装の韓服を着て、茶道体験もしました。韓服は複雑な作りをしていて、着にくかったです。作法などを学び、お茶を頂きました。韓国のお茶は苦味がなくて美味しかったです。お茶の後は韓国のお菓子も頂きました。お菓子は味がありませんでしたが、美味しく感じられました。

3日目は干潟見学と干潟体験をしました。干潟にはカニやムツゴロウ、タコなどのたくさんの生き物がいるそうです。干潟は泥の深さで見られる生き物が違うと聞いて驚きました。カニがたくさんいて、片方のはさみが大きい方がオスだそうです。最初は気持ちが悪くて足が前に出ませんでした。しかし、最後には簡単に足が出るようになって平気でした。こんなにたくさんの生き物が見られる干潟があることを知りませんでした。これからも干潟を守ってほしいと思います。



白蓮池にて

北名古屋市と務安郡がこれからも助け合って仲良くしていったらいいと思いました。このような研修の機会を与えてくださった北名古屋市と務安郡の皆様に感謝いたします。



体験・研修レポート

北名古屋市長師勝中学校2年 明 利 翔

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

韓国への研修派遣を募集しているという紙が学校で配られました。僕は最初、韓国でホームステイをするということは、言葉の壁やたくさんの文化の違いなどがあって自分にはできないと思っていました。しかし、行ってみたら何かが分かるかもしれないと考え直し、挑戦することにしました。

事前に何度か研修会に参加し、ハングルを少し覚えてから、8月15日から19日までの韓国研修に出発しました。

1日目は、ソウルのガイドのヤンさんに案内されて、景福宮と韓国の歴史が分かる博物館と青瓦台前を見学しました。どれもこれもすごく大きくてビックリしました。景福宮では韓国のむかしの暮らしが目で見えて分かりました。そこにある三つの道についてヤンさんが教えてくれました。真ん中の大きな道は王様が通り、横の二つの道は家来や女の人を通るそうです。

2日目は務安郡でホームステイをして、3日目はステイ先の子と干潟の体験をしました。4日目は再びソウルに戻り、ヤンさんに案内されて市内の昌徳宮等の見学をしました。南大門市場に行き、ショッピングもしました。そこでは、日本で言う『ティッシュ配り』のように『韓国のり配り』をしていました。最後の夜は、宿泊したホテルでみんなと仲良くパーティなどをしてとても楽しかったです。



2. 務安郡でのホームステイを体験して

務安郡に着いたとき、緊張していてとても不安でした。郡庁でたくさんの人に日本の旗を振って歓迎してもらい、そのときに少し緊張がほぐれた気がしました。交流会では、日本で練習してきた自己紹介をしっかりと行うことができました。そこで初めてホームステイ先のチョン・ジンウ君に会いました。場所を移動して、韓国の民族衣装を着て、茶の湯の体験をしているうちに、ジンウ君とも仲良くなれました。その後、車でホームステイ先の家に行きました。家までは車でも30分ぐらいかかりました。だんだん田んぼ道になっていき、近くには海もありました。チョン・ジンウ君は僕を散歩に誘ってくれました。外は海からの風が気持ちよくて、とてもいい気分になりました。また、少し歩くとベンチがおいてあり、そこに座って片言の英語でいろいろとしゃべりました。家へ戻り、パソコンをしたり、ゲームをしたりし、この日はとても疲れたので、少し早めに寝ました。

朝、僕が起きるともうジンウ君は起きていました。6時ごろなのに早いなあと思いました。朝食後、車で集合場所まで送ってもらいバスに乗りました。バスでは他の子とも仲良くなることができました。干潟に着き、最初に干潟について少し勉強してから実際に干潟に入りました。なんだか不思議な感じで、足がはまって泥だらけになっている子もいました。そこには蟹

やムツゴロウなどがたくさんいました。その後、昼ごはんを食べて蓮回山白蓮池を見学したり、ボートに乗ったりしました。みんなと力を合わせてボートを漕ぎ、とてもおもしろかったです。その日の夜にはホストファミリーに歓迎会を開いてもらい、とてもいい思い出になりました。10月には今度はジンウ君たちが日本に来るので、会えるのが楽しみです。



3. 務安郡での研修で学んだこと

今回の研修で印象に残ったことが三つあります。

一つ目は、韓国には韓国の文化があり、日本には日本の文化があるということです。少ししか離れてない日本と韓国ですが、まず言葉の文化が違います。日本では日本語を当たり前のように、韓国ではハングルを当たり前にするのです。言葉の違いがなければ、もっと気軽に心を開けたのになあと思いました。次に違うところはマナーです。韓国ではご飯を食べるときに茶碗を持たずに置いたまま食べます。しかし、日本では茶碗を持って食べないと行儀が悪いと言われます。郷に入ったら郷に従えという言葉がありますが、その国のことをよく知って気をつけていきたいです。

二つ目は、韓国の町の様子が日本ととても似ているということです。どこに行ってもコンビニがありました。車がたくさん走り、電車も通っていました。韓国にいても、まるで日本にいるかのようでした。韓国は日本を目標にしているらしく、日本に負けないようにということで、日本で売られている『十六茶』に対抗して、韓国では『十七茶』が売られていました。負けた感じがするので、日本も韓国に負けないように作ってみてもいいかなと思いました。そうやって、韓国と日本が互いにライバル心をもって対抗していくのも悪いことではないかなと思いました。

三つ目は、韓国の人たちの心が温かいことです。ホームステイ先の家族は、僕にとっても優しくしてくれました。また、ソウルでも、ガイドのヤンさんなどがたくさん気軽に話してくれて、不安でいっぱいだった僕の心の支えになってくれました。

これからも韓国と日本が互いに助け合い、成長できるといいなと思います。



体験・研修レポート

北名古屋市立熊野中学校1年 鵜飼 柚野

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

今回は、たくさんの良い体験が出来ました。

参加してみて一番気付いたことは、やはり日本との食文化の違いでした。「韓国は日本の隣の国だから、辛さが加わるだけで味付けはあまり変わらないだろう。」と思っていたのですが、韓国で最初にいただいたビビンバは日本のものとは全く違う味でした。韓国料理のほとんどにニンニクが入っており、量も多いのでとてもスタミナがつくと思いました。料理自体の味は、健康的な薄味で、名古屋人の私は「薄いかなあ」とも思いましたが、とても美味しかったです。韓国で食べた料理の中で個人的に好きなのは、務安郡のテナガタコの刺身です。皆が違う料理を食べている最中も、私はずっとテナガタコを食べていました。タコにつけるのは、ごま油と塩といったシンプルな味付けで、たくさん食べても飽きない美味しさでした。そして、何より驚いたのはキムチです。日本のキムチはかなり日本人好みにしているということが、良く分かりました。日本ではキムチをご飯の上に乗せる漬け物として食べていませんか？しかし韓国では、ナムル（おかず）として食べるのです。しかも、そのキムチの辛さが尋常じゃなく、水を飲んでも辛さは増すばかりで口から火が出るほどでした。また、種類がとても豊富です。日本のキムチと比べて、韓国のキムチは、辛いのはもちろんですが、酸味がある変わった味のキムチがたくさんありました。なぜ酸味があるのかというと、韓国のキムチはもともと発酵させて作られるからだそうです。韓国ではキムチを家庭でも作るのが一般的で、キムチの味は家庭によって異なるそうです。



食文化だけでなく韓国の民族衣装チマチョゴリを着せていただいた経験は決して忘れません。私は韓国ドラマ「チャングムの誓い」を見ていたので、チマチョゴリは憧れでした。日本の着物と韓国のチマチョゴリのシルエットはよく似ていますが、着物との違いは全体的に生地の色が派手なところだと思います。チマチョゴリはショッキングピンクや真っ赤などのビビッドカラーのものが多くとてもカワイイです。柄物はあまりなく、無地の生地に刺繍をつける程度でシンプルなところも「カワイイな」と思いました。ずっとあこがれだったチマチョゴリを着せていただいて本当に嬉しかったです。

また、韓国のお城や、ヤンバ（貴族）の家、農民の家、寺院などの見学の時は、ガイドのヤンさん達が細かく説明してくれたのでとても分かりやすかったです。韓国のお城は、赤や緑、黄色などたくさんの色で塗られていて、日本と比べてかなり派手でした。韓国の見学で一番印象的だったのは、4Dで見る昔の動物のリアルな映像でした。あいにく、日本語ではなくハングルだったので何を言っているのかは全く分かりませんでしたが、恐竜たちが動いたりすると、自分の座っている椅子がガタンッと後ろに下がったり、水のかかる場面では前から実際に霧がかかったりしてとても面白かったです。



2. 務安郡でのホームステイを体験して

今回私がお邪魔させていただいたホームステイ先は海に見える自然にあふれた家でした。苗字は、韓国ではよく拝見する金（キム）さんでした。家族構成は、お父さん、お母さん、お兄さん、妹さん、同級生のハピョンちゃんの5人家族でした。

皆さん仲良で優しい笑顔の絶えない家族でした。最初にデパートへ買物に行きました。ハングルで書いてある文字をハピョンちゃんが英語に訳して説明してく

れました。精肉店で「これはサムギョプサルで使う肉だよ。サムギョプサルは、この（チシャ）の上に焼いた肉とナムルを一緒に乗せて巻いて食べるんだよ。」と英語でていねいに教えてくれました。家に到着するとすぐに出迎えてくれたお兄さんと妹さんは、私のトランクを2人で持ってくれました。

家庭内でも文化の違いはありました。手を洗いに行こうとしたら、お風呂とトイレと手洗い場が同じところがありました。聞くと韓国人は日本のように毎日はお風呂にはあまり入らないそうです。これには、ビックリしました。その日の夕食はハピョンちゃんが説明してくれていた《サムギョプサル》、日本でいう焼肉でした。食事マナーも日本とは違います。箸やスプーンを使わない方の手は皿を持たずに下に置きます。また、おかずを取皿で分けるという習慣はなく、大皿に盛りつけられたおかずを直接自分の箸でそのまま食べます。ハピョンちゃんが私の家に来たときは日本式で食べるので何と思われるか心配ですが、日本人として、とっておきのおもてなしが出来たら良いなと思っています。

3. 務安郡での研修で学んだこと

私が今回の研修派遣で学んだことは、言葉が通じなくても友達になれるということです。8月17日に行った回山白蓮池では、韓国版ハンカチ落としのようなゲームをしたり、「ドゥングルゲ」と言いながら、手をつないで円を崩さずに回る遊びをしました。他のみんなを見てみると楽しそうに笑っていて、日本人と韓国人の差を感じなくなるほどでした。

歓迎晩餐の時には、通訳さんがいらっしやったので、ホームステイの時になかなか言葉が通じず言えなかったことを全て話しました。ハピョンちゃんに、「日本の北名古屋市で待ってるね。」というと、ハピョンちゃんは笑顔で“See you next time”と言ってくれました。とてもうれしかったです。

最後にお隣の国韓国と日本の文化の違い、考え方の違い、衣食住の違いを、肌で感じる事ができました。一般的な海外旅行ではホームステイや文化交流などが経験できる機会は滅多にありません。この機会を与えていただいた事に感謝したいと思います。本当に、ありがとうございました。



体験・研修レポート

北名古屋市長西春中学校1年 足立 菜都美



1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は、海外に行くのが初めてだったのですごくドキドキしていました。「言葉が通じなかったらどうしよう？」という不安もありました。

でも、実際に行ってみたら、韓国にしかない物や、日本と違うところをたくさん見つけられたので「韓国に来て本当によかったなあ」と思いました。

韓国に到着してから初めて食べたビビンバは、予想以上に辛くて、すごくびっくりしました。特にキムチが私にとっては辛すぎて、水なしではとても食べられませんでした。

ソウルでは、観光することが多く、いろいろな歴史や文化を学ぶことができました。

二日目には、ずっと前から着てみたかったチマチョゴリを着ることができました。いろいろな色のチマチョゴリがあったし、思っていたより生地が薄かったので、すごくびっくりしました。また、着ている間の座り方があるということも初めて知りました。茶道では、韓国茶をいただきました。日本の抹茶のような苦い味を想像していたのですが、あまり苦くなかったのがよかったです。

韓国には、日本と同じように、韓国ならではのいろいろな作法やきまり事があるということがわかりました。もっと、韓国の歴史や文化を知りたいと思いました。



2. 務安郡でのホームステイを体験して

私が一番不安だったのが、ホームステイを体験することです。私のホームステイ先の中学生ノ・ソヨンちゃんは、日本語を話せないで、ほとんど英語かジェスチャーで、一生懸命いろいろなことを教えてくれました。なかには、伝わらないこともあったけれど、思っていたよりも言いたいことが伝えられたのでよかったです。

ソヨンちゃんには、お父さんお母さん、そしてお兄ちゃんがいます。みんなやさしくて、とても笑顔がすてきな家族だったので安心しました。ソヨンちゃんの家玄関のドアにはかぎがなく、暗証番号でドアを開けていたのでとても驚きました。

その日の夕飯は、ソヨンちゃんの家族と一緒に焼肉を食べに行きました。そこでも、やっぱりキムチが出されました。ソヨンちゃんのお母さんが、ごくごく普通にキムチを食べていたので、私も、「辛くないんだなあ」と思って、意識せずに食べたところ、すごく辛かったので、びっくりして水をたくさん飲んでしまい、みんなに笑われてしまいました。

その後、ソヨンちゃんの家に戻ってお風呂に入りました。お風呂とトイレが一緒の部屋にあったのでびっくりしました。

翌日の朝食は、おかゆとキムチとベーコンの炒め物でした。ソヨンちゃんの家キムチは、辛いというよりすっぱかったです。

朝ごはんを食べ終わったら、ついに別れのときがきました。そんな時に、何と言ったらいいのかわかりませんでしたが、お父さん、お母さん、お兄ちゃんに、「カムサハムニダ」と言ったら、すごく喜ばれたので私もうれしくなりました。

3. 務安郡での研修で学んだこと

私が、初めて務安郡へ行ったときに思ったことは、とにかく自然が豊かな所だということです。

それから、食べ物も新鮮でとてもおいしかったです。中でも、初めて食べた手長タコは、口の中がきゅうばんで吸いつかれる感じで本当にびっくりしました。このタコは、生臭さもないし、本当に新鮮でとてもおいしかったです。

韓国には、水族館がないことも初めて知りました。私は「いつか、ソヨンちゃんとソヨンちゃん家族を、日本の水族館に連れて行ってあげたいなあ」と思いました。

私が大人になったら、また再びソヨンちゃんの家へ会いに行きたいと思いました。その時は、韓国語もスラスラと話せるようになっていたいです。



体験・研修レポート

北名古屋市長西春中学校1年 高橋 侑里

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

中学に進学！今年は何か違うこと、普通は体験できないようなことをやりたいなと思っていました。海外にも行きたいなあと家族としゃべったりしていたら、学校で『韓国務安郡研修派遣についての募集』の紙が渡されました。私は、「応募したい！」と思いました。父も「こんないい体験ができるチャンスなんてめったにないから応募しなよ。」と言ってくれたので、私は応募しました。そしたら、まさかの当たりでこの研修に参加できることになりました。

初めての海外旅行が家族旅行ではなく、中学生多数で行く韓国だったので、不安とワクワクドキドキでいっぱいでした。でも、みんな優しく、中学生の人達とも仲良くなり、とても楽しい5日間を過ごすことができました。

1日目、ソウルで本場の韓国料理『ビビンバ』を食べました。食べてみると、予想以上に辛く、みんなで「辛い！辛い！」と声を上げて食べました。本当のビビンバはこんなに辛いんだなあと思い驚きました。でも、味はとてもおいしかったです。おいしくても量が多いので残してしまいました。韓国の料理は量が多く、毎回毎回食べきれないほどでした。



もう1つ印象に残っているのは、韓国の人達はみんな優しくかったです。ホテル、食事、買い物、ホームステイの家族の人達、とても優しくされてびっくりでした。特に買い物では、おまけをたくさんしてくれて「いいんですか！」と思わず聞き直したくなるほどでした。話しかけやすいし、色々な事を教えてくれたりもしました。

買い物をしていると、店員の人は、円の価格で教えてくれましたが、日本に比べてかなり安く思いました。逆にウォンだと高く感じられました。日本円で計算すると、買い物をしても、あまりお金が減っていないな、と思ったりしました。また、食事の時茶碗を手に持たなかったり、暗くなってからでも普通に散歩したりと、日本では考えられない習慣もありびっくりしました。他にも、たくさん驚く体験をしました。

2. 務安郡でのホームステイを体験して



務安郡では、ソ・チョンジュという男の子の家にホームステイをしました。ホームステイは初めてだったし、泊まる所が男の子の家なので、不安と緊張で頭がいっぱいでした。

会ってみると、家族の方はみんな優しくてホッとしました。一つ一つの気配りがあり、なごみやすく緊張もどんどんなくなっていきました。家族の方はいつでも笑顔が絶えず、一緒に居るだけで、私も笑顔になりました。チョンジュとは、最初はなかなか話せなかったけれど、

ご飯を食べているときは通訳さんのおかげで会話が
でき、楽しかったです。それに、チョンジュは「今
度は気軽に話したい」と言ってくれて、私はすご
く嬉しくなりました。お母さんと話したとき、よ
く分からない言葉がたくさん出てきて困っていた
私に、チョンジュは間に入って上手く伝えて助け
てくれるなど、毎回いつでも優しくしてくれてと
ても嬉しかったです。

別れるときはすごく寂しくなりました。せつか
く仲良くなったのになあ、と思いました。お土産
には、かわいいヘアアクセサリーやアロマキャンドルなどをもらいました。こんなにいい物を
たくさんもらって嬉しかったです。本当に家族の人達には、最初から最後までよくしてもらい
ました。「ありがとう」という言葉だけでは気持ちが伝えられないくらい感謝しています。



3. 務安郡での研修で学んだこと

私は、韓国の茶道を体験しました。韓国の民族衣装のチマチョゴリを着て、礼の仕方やお茶
の作法を学びました。作法では実際に体験し、お茶の淹れ方と飲み方まで教えてもらいました。
お茶を淹れるときは緊張しましたが、不思議な気持ちになりました。また、穏やかな気持ちで
楽しくでき、特に、自分で淹れたお茶はとっても美味しく感じました。想像していた味とは違
い、苦くもなく香りがとてもよいお茶でした。

回山白蓮池見学では、手でこぐカヌーのようなアヒルボードに乗りました。15分～20分く
らい、務安郡で有名な『白蓮』の咲いているところを回りました。でも、花はあまり見つから
なくて、つぼみがあるぐらいでした。池には大きな葉っぱがたくさんありました。

他にも自然史や海洋博物館の見学もしました。
自然史博物館では恐竜の骨を見ることができ、
遺跡や土器・船を見ることができました。4Dで
は恐竜が出てきて、迫力満点の映像でした。国立
海洋文化財研究所に行くと、たくさんの文化財に
出会いました。その中でも特に心に残っているの
は、水中文化遺産の数々の難破船です。大きい船
まで見ることができ楽しかったです。



私は今回、この研修で多くのことを学びました。
言葉や文化が違って、互いに通じ合える事も分
かりました。今年の研修を通して、北名古屋市と務安郡の架け橋がさらに増えたと思います。

この研修に参加できて本当によかったと思います。話し足りないぐらいの体験や温かく迎え
てくれたホームステイの家族、みんなとの一緒にいた時間もあっという間に過ぎてしまった気
がします。私にとって最高の体験であり、一生忘れられない特別な13歳の思い出になりました。

体験・研修レポート

北名古屋市立白木中学校1年 山田 葉 央

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して



私は、はじめはこの研修派遣が不安でした。ひとつは、日本から韓国へ行く飛行機について、ふたつめに友達についてでした。私は、外国に行くのが初めてな上に、飛行機にも乗ったことがありません。しかも、同じ学校の人がいないので、とても不安でした。当日の朝を不安なまま迎えましたが、だんだんと友達もでき、みんなに話を聞いてみると、「私も飛行機に乗るのは初めてなんだ。」と言っていたので安心しました。話をしているうち

に、いつの間にか友達とも打ち解けてとても楽しい旅が始まりました。

15日は韓国のソウル市にある景福宮（キョンボックン）に行きました。景福宮とは、朝鮮王朝の王宮のことを言います。昔の王様や王様の家族が住んでいた建物がたくさんあり、石像なども見学できました。景福宮には3つの門がありましたが、真ん中の一番大きな門は王様しか通れなかったそうです。木で出来た朱色の門だったのですが、奈良の平城京跡にある朱雀門に似ているなと思いました。たくさん見学した中でも一番印象に残っているのが、兵隊さんのような格好をした十二支の動物の石像です。兵隊さんの顔の部分が動物になっているのですが、トラや龍が特にかっこいいと思いました。



16日は飛行機に乗って、いよいよ務安郡に移動です。事前に聞いていた説明では「北名古屋市と変わらない」ということだったのですが、実際に見た緑の多い景色に大変驚きました。

日本でも時々見かけるハイビスカスの花は、韓国の国花で「ムクゲ」というのだとガイドさんが教えてくれました。私の通う中学校の通学路にも咲いているのですが、自分がよく目にしていた花が韓国の花だとは知らなかったなので、とても不思議な感じがしました。務安郡では黄土畑で玉ねぎが多く栽培されており、特産品の玉ねぎ茶を飲みました。玉ねぎがお茶になるなんて思ってもみなかったのですが、とても驚きました。玉ねぎ茶はオレンジに近い茶色をしており、玉ねぎそのものの味がしました。お茶というよりも小児科でもらった水薬に近い味でした。務安郡は海に近い町でもあり、干潟がありました。干潟では初めて見る生き物がたくさんおり、その中でもピョンピョンはねる「ム



ツゴロウ」の姿に驚きました。干潟には水を浄化する力があることがわかり、とても勉強になりました。

2. 務安郡でのホームステイを体験して

日本でも友達の家泊まったことはありましたが、お泊まり会とは全然雰囲気が違いました。しかも、参加した男女の人数の違いから、男の子の家に泊めてもらうことになっていたので余計に不安がつりました。



しかし、実際に会ってみるととても優しい家族だったので、安心しました。ホームステイ先のホンジュ君の家は4人家族でした。ホンジュ君のお父さんもお母さんもとてもやさしくて、私のことをとても気にかけてくださいました。ハングルは何を言っているのかわかりませんでしたが、私でもわかるような簡単な英語を交えて話しかけてくださいました。言葉がわからないながらも、一緒に韓国ドラマを見ました。ホンジュ君のお母さんはドラマを見ながらポロポロ涙を流していたのですが、話の内容がわから

ないのでどんなシーンなのかも理解できなくて少し残念でした。ホンジュ君の妹さんは元気で明るくて、すぐに仲良くなれました。雰囲気では何を言っているのかわかりませんでしたが、言葉が通じなくても友達にはなれるんだなあと思いました。あんなに不安だったのに、夜も妹さんと一緒に寝たくらいです。

ホストファミリーの皆さんは英語がペラペラで、私は英語が少ししかできないので、英語でもハングルでもどちらで話しかけられても全くわかりませんでした。私には何を言われているのかよくわからなかったけれど、それでも一生懸命にジェスチャーなどで自分の思っていることを伝えました。自分の思っていることを言葉にすることがこんなに大変だと思ったことはありませんでした。私は英語の塾に通っていますが、ますます一生懸命に勉強しようと思いました。1泊だけだったけど、ホストファミリーさんのことが大好きになりました。お別れするときは本当に淋しかったです。

3. 務安郡での研修で学んだこと

韓国と日本の文化で似ているところがありました。それは、「茶道」です。作法は違いましたが、お茶を楽しむというところは同じでした。日本では和菓子と一緒に抹茶をいただきますが、韓国では「蒸しパン」と呼ばれるお餅のようなお菓子がついていました。

日本と韓国は地球儀で見ると、とても近い国です。

これだけ近くても、似ているところばかりではありませんでした。

今回の研修の経験をこれからの日本での生活にも活かしていきたいです。

体験・研修レポート

北名古屋市長谷川 順乙

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は、以前から海外に行ってみたい、ホームステイをしてみたいとずっと思っていました。そんなとき、研修派遣の話を聞き絶対に行きたいと思いました。韓国に自分が行けると決まった時、飛び上がり喜びました。行く日が待ち遠しく楽しみでした。しかし、初めての海外、言葉の通じない韓国で、しかも知らない友達と行くので、不安と緊張でいっぱいでした。けれどもすぐに他校の友達とも打ち解けられ、たくさんのことを学び、楽しい思い出の多い研修になりました。



《韓国の人と集合写真》

務安郡では「チマチョゴリ」という民族衣装を着ました。韓国に行く前から着てみたいと思っていたので、着られると知ったときはすごくうれしかったです。またそこで、茶道を習いました。そこでは、和菓子とトウモロコシ茶を飲みました。

また、ソウルの「景福宮」を見学しました。そこでは、真ん中の道は王の道。右は文官の道。左は武官の通る道になっていました。こんな風に道を作っていたことに驚きました。

2. 務安郡でのホームステイを体験して

韓国に着いて2日目の、16日に「ナヒョンちゃん」の家でホームステイを体験しました。ナヒョンちゃんの家までは、お母さんが迎えに来てくれましたが、車に乗って家に着くまでの時間が長ければ長いほど心細くなってきました。しかし、家に着くと近所の人を迎えてくれたり、家に入ると弟2人が元気に遊んでいたのを見て少し緊張がほぐれました。荷物を下ろすとすぐにお母さんが、「お風呂はいつて！」とジェスチャーで言ってくれましたが、日本のように湯船につからず、シャワーだけだったことにびっくりしました。お風呂から出るとご



《ホームステイ先のナヒョンちゃん》

飯でした。お母さんの料理は、どこで食べた料理より一番おいしかったです。ナヒョンちゃんの家族は、私のお土産にすごく喜んでくれました。特にケーキのろうそくを喜んでくれました。そして、メールアドレスや住所を交換しました。次の日の17日のお別れ会にはお母さんが来てくれました。お父さんや弟は用事で来られなかったのがちょっと残念でした。

通訳さんを通してお母さんと、たくさんお話ができ、ジェスチャーでは通じなかったことも分かって良かったです。帰りがけには紙袋2袋

いっぱいにお土産を頂きました。初めは、不安でいっぱいだったし、言葉も通じなくて大変だったけれど、よい思い出になり、あんなに温かい家庭に行けてほんとうによかったと思います。

10月に、ナヒョンちゃんが日本に来た時は、会話ができるように勉強して、いろいろなところと一緒にいきたいです。

3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡は、とても自然豊かな良い都市でした。

務安郡で体験したことは、干潟体験や回山白蓮池見学です。干潟体験では、カニや貝などを拾いました。また、回山白蓮池見学では、務安郡で有名なきれいな蓮の葉の間を通るボードにも乗りました。私たちのグループは最初に出発して、一番最後に帰ってきたけれどそれもよい思い出になりました。

また、郡守さんをはじめ、お世話になった人たちには本当に感謝しています。務安郡の人たちは、いつも笑顔いっぱいの優しい人たちでした。そして、ホームステイ先の方もすごく優しく、よく気づかって下さいました。

この韓国研修派遣で見たもの、感じたことがすべて、この夏一番の思い出になりました。韓国のイメージも、研修に行く前と違って、私の中では、すごく近いものになりました。この研修は、一生涯忘れることができないものになりました。

また務安郡に行き、ナヒョンちゃんやホストファミリーをたずねる機会を作り、家族と一緒にいきたいです。

「ト・マンナヨ」また会いましょう。

また、この研修派遣をきっかけに韓国と日本が一番近い国なので、今まで以上に交流を深め、仲良くなれたら嬉しいです。



《チマチョゴリと演奏》



《蓮の葉とボート》

体験・研修レポート

北名古屋市立天神中学校2年 三島 由美子

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は韓国にとっても興味があり、行ってみたい国の1つでもあったため、今回の研修派遣に応募しました。

しかし、最初はすごく不安でした。言葉も話せなければ、仲の良い友達さえいません。どうしようもないくらい不安がこみ上げてきたときもありました。

でも3日間の事前研修のときに話してくれた友達がいて、今までの不安がいつのまにか「はやく行きたい」という気持ちに変わり、出発する日の15日がとても待ち遠しかったです。

ついに15日になり、集合場所に行ってみんなの顔を見たとき、自然と笑顔になった気がしました。ソウルに着くまでの飛行機の中の2時間でさえも思い出の1つになるくらい楽しかったです。

派遣研修は勉強ももちろんでしたが違う学校の子、バディーの子と仲良くなれてよかったです。全て自己管理と言うこともあり、ときにはバディーの子に助けてもらったり、ときにはバディーの子を助けてあげたりととても協力しあいました。1人がみんなのために、みんなが1人のために、つねに責任をもち行動することに心がけました。



2. 務安郡でのホームステイを体験して

務安郡でのホームステイではソ・ヒョンソという子の家に泊まりました。やはり、初めは楽しみというより不安のほうが大きかったです。

でもヒョンソは日本が大好きで日本語の勉強を自らしていたため、普通に日本語が話せたのでとても安心しました。

夕食には、ご飯に春雨の炒め物・ご飯・味噌汁・辛い味付けの肉・キムチ・豆のようなもの・韓国のり・梨・ぶどうでした。とてもおいしかったです。



ご飯を食べた後、ヒョンソの得意なチェロの演奏を聞きました。すごく上手でビックリしました。

その後、8時半に家を出て毎日9時からやっている噴水ショーをみにきました。すごくきれいで感動しました。

噴水ショーの後は、大きなスーパーマーケットに行き、次の日の朝ごはんのパンな

どを買いました。

次の日の朝、7時に起きてみかんジャムをサンドしたパンを食べて、7時45分に家を出て集合場所にいきました。ヒョンソの家族にはとても優しくしてもらい、うれしかったです。日本と韓国の生活の違いも知る事ができ、大変良かったです。

3. 務安郡での研修で学んだこと

今回の務安郡の研修で学んだ事はとてもたくさんあります。

その中でも特に学んだことは、人とのつながりの大切さです。

不安でいっぱいだった時が嘘のようなくらい5日間が楽しくてたまりませんでした。初めは1人でいました。でも、メンバーの中の1人の子が話しかけてくれたり「一緒に行こう」などと誘ってくれたりしてくれました。

今思うとあの時その子が話しかけてくれなかったら、ずっと1人のままで、つまらない5日間をすごしていたと思います。初めてみんなに会った時に知らない子ばかりだったので「このメンバーで行くんだ・・・」と少し残念でした。でも今では最高の仲間です。

何でも一緒に行動して、分からない事で悩んだり、少し不安になったりすると、いつも私を笑顔にしてくれたのが12人の仲間たちでした。

5日間を楽しい時間にしてくれたのも全て12人の仲間と務安郡のガイドさん、研修派遣の関係のみなさんのおかげだと思い、とても感謝しています。

日本に帰国して、この研修派遣に参加して無駄だったとは全く思いません。この研修派遣は勉強でもあったけれど、私自身がとても成長したように感じました。そして今の私に何かを与えてくれたようにも感じました。

この経験をこれからの生活にも少しずつでも生かしていけたらいいなと思います。今回の研修に参加してとても良かったです。



体験・研修レポート

金城学院中学校1年 内海 果音

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

今回の韓国研修は市の広報に載っていて、お母さんに勧められたし、KARA やチャン・ゲンソクなどの韓流スターに興味があったので応募しました。

北名古屋市の代表と言われ、プレッシャーもありましたが、恥じない行動をとるように心掛けて、行かせてもらいました。

行ってみると、風景があまり日本と変わっていなかったです。一番、驚いたことは、ごはんを食べに行った時のトイレです。自動ではなく、桶で水をすくって流すという方法には、びっくりしました。

その他に、食事をする時の作法も違ってきます。韓国では金属の箸を使い、茶わんやお皿を持たずに食べます。金属の箸は少し重く感じられました。食器を持たなかったのも、食べにくかったです。

食べ物の内容も違います。必ず毎食キムチが付いてきます。酸味が強いものもあれば、辛味が強いものもあります。

日本と近い国なのに、文化がかなり違っていました。



2. 務安郡でのホームステイを体験して

ステイするまで、2日間やって行けるのか、寂しくならないか不安でした。でも、ホストファミリーに会ってみるとそんな気持ちがなくなりました。

とても優しく迎えに来て下さったホストファミリーの方々、その友達、ありがたく思います。一緒に来ていたお友達は日本人で、ホストファミリーと私の会話を通訳して下さいました。

ホストファミリーは、お父さん、お母さん、チウン、弟のパッダンジュの4人家族です。



夕食の帰りスーパーマーケットに行かせてもらい、チウンと弟は、たくさんのお菓子を買っていました。家に帰って食べるのかと思っていたら、全て私へのおみやげだったことにびっくり！キャリーケースに入りきれない程の量でした。

家に着くと、お母さんとチウンが演奏をしてくれました。お母さんはハーモニカの先生で、チウンがヴァイオリンを習っています。

その日はお母さんがピアノ、チウンがヴァイオリンでモーツァルトの曲を弾いてもらい、生

で聴けて幸せだなあと思いました。

夜は、チウンと弟と3人で寝ました。小学3年生の弟はとてもかわいく、こんな弟がいればいいのになあと思ったぐらいです。

夜10時頃まで英語とゼスチャーで、3人で話をしていました。楽しかったです。

次の日の朝、お母さんが、目覚まし代わりにピアノでショパンの幻想曲を弾いていました。この曲は私が大好きで一度は弾いてみたいと思っていたので、うっとりしました。なんでも出来るお母さんだなあと思いました。

歓迎晩餐会では、1番始めにスピーチだったので緊張しましたが、ホストファミリーのみんながニコニコしてくれていたのが、緊張もほぐれました。

お別れの時、もう家族には会えないのだなあと思うと涙が出てきそうでした。短かったけど楽しい2日間になりました。コミュニケーションは言葉だけではないことにも気付かされました。

3. 務安郡での研修で学んだこと

小学校の時十二単を着てから、あこがれをいただいていたチマチョゴリを着て、お茶を淹れられた事には感動しました。十二単は着物生地「単」を何枚も重ね着するので暑く重かったけれど、チマチョゴリは十二単とは違い、上下分かれていて、生地が薄かったのが、とても軽くて動きやすかったです。

私がお茶を飲んでいたら韓国の男の子が「No！」と言ってお茶の正しい飲み方を教えてくれました。

干潟体験では長靴の3分の2が干潟の中に埋まってしまうほど柔らかかったです。歩くのに大変すぎて、結局何もとれませんでした。お互い助けあったので友達との絆は深まったと思います。



池一面を覆う真っ白な白蓮の花を見た時、力強く、美しく感動しました。元気をもらえた気がしました。

「白蓮の石けん」が欲しくて、通訳さんに聞いたところ、昔は作っていたけれど、今はもう作っていないから、売られていないとの事でした。私が残念がっていたら、通訳さんが色々なお店に聞いて下さり、なんとか売っている店があったのです。ですが、やはりその店でももう作っておらず、限定5箱のみの販売でした。私は1箱買うことが出来ました。周りには売っていない物を買えたのです。うれしくてたまりませんでした。

今回の派遣で、日本と韓国の文化の違いを肌で感じる事ができて良かったです。

体験・研修レポート

金城学院中学校2年 服部 華奈

1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は、8月15日～19日までの4泊5日、研修派遣団員の一人として韓国に行きました。この研修に参加しようと思ったきっかけは、異文化を知りたいと思ったからです。特に隣の国である韓国についてすごく興味がありました。行くことが決まったときはとても嬉しくて、頑張ろうと思いました。仁川国際空港に到着しました。空港はとても綺麗でした。とても広くて関西国際空港の3倍の広さと聞いてとても驚きました。



それに加えて建設費が4分の1だということも驚きました。次に景福宮に行きました。この景福宮は、とても豪華で色が派手でした。日本にはない色彩だったので文化の差を感じました。他にも壺がたくさんあることやオンドルの大きさや豪華さがお金持ちの象徴だったり日本では考えられないことがたくさんありました。昼ごはんのビビンバはとても辛かったです。日本と違って本場はやっぱり辛いのかなと思いました。食文化の差も少し知ることができてよかったです。

2. 務安郡でのホームステイを体験して

初めてのホームステイは緊張したし、韓国語は全然話せないのもとても不安でした。ホームステイ先の子はパク・スンヒョンという子です。とてもかわいらしい子でした。務安郡の広場まで、お父さん以外の3人で迎えに来てくださいました。家まではとても遠くて不安が高まりましたが、家に着いてからはスンヒョンちゃんとパソコンの翻訳機能を使って話したり、ジェスチャーで何とか会話をしたりしました。外国の子と色々な話をすることができて、とても嬉しかったし、楽しい時間を過ごすことができました。外へはいかず、スンヒョンちゃんの家で



テレビを見たりしてゆっくり過ごしました。日本でも活躍している韓国のアイドルが出ている番組を見ました。日本のドラマが韓国でも放送されていることが多いようで、その話でも盛り上がりました。音楽やテレビなどの大衆文化は外国の人と仲良くなるのによい手段だということを実感しました。家族の方が日本語で挨拶してくださったのがとても嬉しくて印象に残っています。

3. 務安郡での研修で学んだこと

研修の中では、看板の標記の韓国語を目の当たりにしたし、文化の差を感じたりすることが多かったです。その差を知ると日本が恋しくなったりもしましたが、しかし、韓国の人の温かさや務安郡の自然などに癒されました。特に、ホームステイ先の人にとっても親切に接していただき不安などを取り除くことができました。このことは実際に外国に来ないと感じることができないことなのでこの研修はとても良い経験となりました。また、この研修でコミュニケーションが大切だということが分かったので、語学の勉強もより一層頑張りたいと思いました。最後に、この研修に参加できて本当に良かったです。異文化を学ぶ、ということができ、日本には出来ない体験などをたくさんすることができました。この研修に協力、支援してくださった方々に感謝したいと思います。



務安郡での 体験風景

①

郡庁舎で自己紹介



8/16
午後

8/16
午後



茶道の体験

韓国の民族衣装で1枚



8/16
午後

8/17
午前

干潟体験



みんなで昼食



白蓮池でボート体験

8/17
午後



8/17
夜



歓迎晩餐会で
みんなといっしょに

務安郡での
体験風景

②



(編集)

北名古屋市 人事秘書課

〒481-8531

愛知県北名古屋市西之保清水田 15 番地

T E L : 0568-22-1111 F A X : 0568-25-1800

U R L : <http://www.city.kitanagoya.lg.jp/>